

岡山市社会福祉協議会出前福祉体験教室 企画書 記入例

団体 学校名	●●中学校			担当 (岡山 善子)
テーマ	視覚障害について考えよう！			
目的	<p>現在、岡山駅前歩道の点字ブロック上には放置自転車が並ぶなど、住民の障害に対する理解は得られているとは言い難い状況にある。</p> <p>総合学習の1つとして、子どもたちが「見るだけ、聴くだけ」の学習ではなく、障害を肌で体験し、「共に生きること、支え合うことを心で感じる」学習を実施したい。(何故この企画を実施するのか、また社会的背景には何があるのか)</p>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講話を聴き視覚障害者の生活を知り、障害に対する理解を深める。障害を身近な問題として捉えてもらう。 ・アイマスクでの見えない世界を肌で体験し、その介助体験をすることにより、視覚障害者へどんな配慮が必要かを考える。 ・社会に存在する問題を自分で考え、自分たちに何が出来るのかを考えるきっかけをつかむ。 <p>(この企画により期待される学習内容)</p>			
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書による、点字の学習 ・老人ホームへの訪問 <p>(何かこの企画以前に関連した学習があればご記入ください)</p>			
プログラム 内容 (※希望される ものがあればご 記入ください)	日程	活動内容		準備物
	10:00	開会 講話 (20分)		アイマスク 30個
	10:20	質問コーナー (10分)		
	10:30	アイマスク体験 (45分)		
	11:15	感想発表 (15分)		
11:30	閉会			
事後学習 (今後の取 り組み・展 開など)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回講師のお話を聴いたこと、体験したことを振り返り、作文にまとめる。 ・自分達に何かお手伝い出来るかを考える時間をもつ、話し合った結果を発表しあう。(グループワーク) ・点字ブロック上の放置自転車禁止の啓発ポスターを作ろう！ ・点字の学習→視覚障害講師へ点字による感想文を贈る。 ・学校周辺を探索し、バリアフリー点検マップを作成する。 ・より長い時間体験をしてみる。(半日アイマスクをしてみる) ・手話や車いす体験など他の体験活動にも取り組んでみる。 			

※その他、既存の様式で企画を立てたものがありましたら、そちらをご提出いただいて結構です。